

当町は健全な財政状況です (令和4年度決算による)

自治体の財政破綻を未然に防ぐとともに、悪化した団体に対して、早期健全化を促すために平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が施行されました。この法律により、健全化判断比率として4つの指標（①実質赤字比率、②連結実質赤字比率、③実質公債費比率、④将来負担比率）と、公営企業の経営状況を示す資金不足率をお知らせします。

健全化判断比率のうち一つでも早期健全化基準以上となった場合は、経営健全化計画を定め、財政の健全化を図らなければなりません。

令和4年度決算に基づき算定された健全化判断比率などは右表のとおりです。いずれの指標も基準を下回っており、大槌町は健全な財政状況です。

【健全化判断比率】

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	15.00%	20.00%
連結実質赤字比率	—	20.00%	30.00%
実質公債費比率	12.5%	25.00%	35.00%
将来負担比率	—	350.0%	

※将来負担比率は、将来財政を圧迫する可能性を示すもので低いほど良好なものです

各会計で赤字はありません

【公営企業の資金不足比率】

指標区分	大槌町の比率	早期健全化基準
水道事業会計	—	20.00%
下水道事業会計	—	20.00%
漁業集落排水処理事業会計	—	20.00%

公営企業においては、資金不足はありません

財政の健全度を判断する指標 4つの指標で判断します

- ▶**実質赤字比率：** 地方公共団体の一般会計の赤字の程度を指標化し、財政運営の深刻度を示すものです。
- ▶**連結実質赤字比率：** 全ての会計の赤字や黒字を合算し、地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、地方公共団体全体としての運営の深刻度を示すものです。
- ▶**実質公債費比率：** 借金の返済額およびこれに準ずる額の大さを指標化し、資金繰りの危険度を示すものです。

- ▶**将来負担比率：** 地方公共団体の一般会計の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高の程度を指標化し、将来財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。

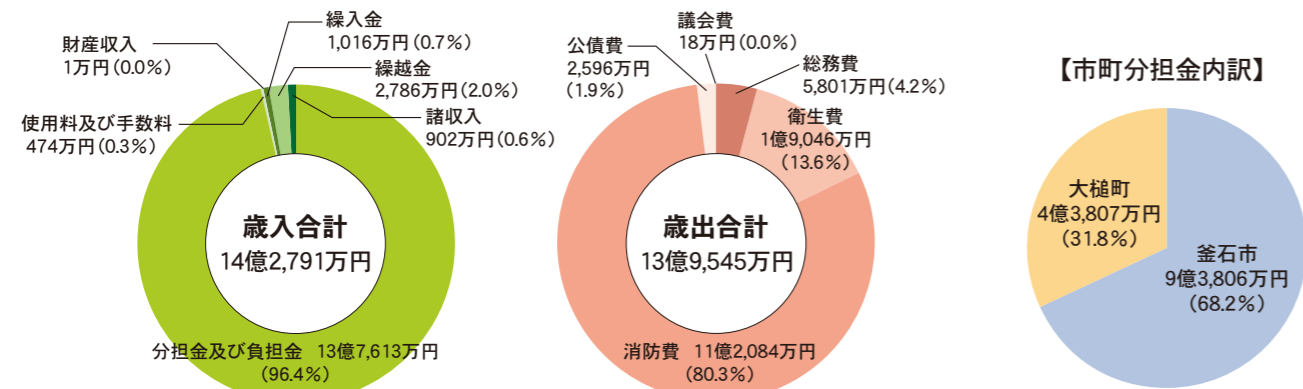
公営企業は次の指標で判断します。

- ▶**資金不足率：** 公営企業の資金不足を、公営企業の事業規模である料金収入の規模と比較して指標化し、経営状況の深刻度を示すものです。

☎ 企画財政課 TEL 0193-42-8712

令和4年度 釜石大槌地区行政事務組合会計 決算のあらまし

釜石大槌地区行政事務組合は、釜石市と大槌町からの分担金などによって、共同で消防業務や、し尿処理事業を行っています。10月31日に開催した同組合議会定例会で認定された令和4年度決算の概要をお知らせします。



令和4年度 行政事務組合の主な事業

【消防業務】	火災件数	前年度比較	救急件数	前年度比較
釜石消防署	8件	4件	1,533件	34件
大槌消防署	2件	△1件	844件	69件
合計	10件	3件	2,377件	103件

【し尿処理事業】	搬入量	構成比率	前年度比
釜石市	1万2,561kl	66.1%	△0.9%
大槌町	6,442kl	33.9%	△3.9%
合計	1万9,003kl	100.0%	△1.8%

※四捨五入の関係で合計額などが合わない場合があります ※△はマイナス

令和4年度開示請求などの状況

令和4年度において、釜石大槌地区行政事務組合情報公開条例に基づく開示請求および審査請求は1件ありました。

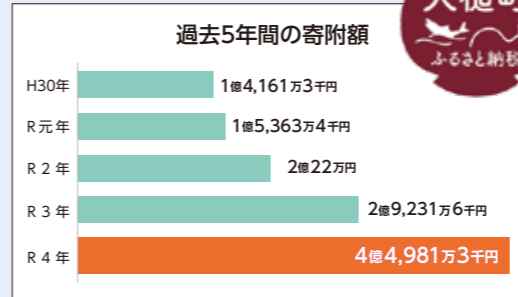
釜石大槌地区行政事務組合個人情報保護条例に基づく開示請求および審査請求はありませんでした。

☎ 釜石大槌地区行政事務組合 事務局 総務課 TEL 0193-31-1336

主な事業

1 ふるさと納税特産品贈呈事業 2億1,192万円

令和4年度の寄附額は過去最高額となる約4億5,000万円となりました。引き続き、町の特産品と事業者のPRを併せ、大槌町の魅力の発信や返礼品の充実を図ります。



2 吉里吉里海岸海水浴場 関連施設建設 6,142万円

令和3年度の浪板海岸に続き、吉里吉里海岸に海水浴場関連施設を整備しました。愛称は「UMIDA吉里吉里」といいます。地域と連携しながら施設の有効活用を進めます。



3 大槌ジビエソーシャルプロジェクト 3,949万円

「害獣をまちの財産に」をテーマに掲げた取り組みは、地域おこし協力隊をはじめとした地域内外の人材との連携により、持続的なビジネスモデルの構築が図られました。



4 大槌高校魅力化推進事業 1,981万円

大槌高校を魅力的な高校にして安定的に存続させ、これからの大槌を担う人材を育成することを目標に実施しました。令和4年度は、はま留学生が5人入学しました。



5 防災ハザードマップ更新 956万円

新たに公表された浸水想定区域・土砂災害警戒区域などの最新データに基づき、「防災ハザードマップ」の更新を実施しました。

